

授業科目          応用数学

【担当教員名】  本間 久文		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 数学は科学・技術の基礎であり根幹をなすものである。臨床技術学を学ぶ上で必要最低限の数学的知識は必要である。推論を積み重ねて結論を出す上で、数学的思考法を身につけなければならない。臨床技術学に必要な代数、微分積分、確率統計等について知識を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 高校で学んだ数と式、方程式、関数、順列と組合せ、確率を学び直し、応用することができる。 2. 臨床技術学を学ぶ上で必要となる微分・積分、確率・統計などについて、新たな知識を習得できる。 3. 検査技術で必要となる有効数字の扱い方や指数対数、三角関数に関する知識について、理解し応用できる。 4. 統計データを分析するための知識・能力を身につけ、各種統計処理で応用することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	数と式			1.3	講義・演習
2	方程式と不等式			1.3	講義・演習
3	関数			1.3	講義・演習
4	三角関数			1.3	講義・演習
5	ベクトルと行列			2	講義・演習
6	行列式			2	講義・演習
7	微分			2	講義・演習
8	積分			2	講義・演習
9	微分と積分の応用			2	講義・演習
10	事象と確率			1.2	講義・演習
11	記述統計			1.2	講義・演習
12	相関と回帰			1.2	講義・演習
13	確率分布			2.4	講義・演習
14	母集団と推定			2.4	講義・演習
15	仮説検定			2.4	講義・演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		臨床検査学講座 数 井川 俊彦、清田 正夫、徳永 伸一、医歯薬出版株式会社 2009・2,200円＋税 学／統計学 山館 周恒、熊坂 一成			
その他の資料		プリント			
【評価方法】 ・出席状況（10%）、試験（90%）によって評価する。			【履修上の留意点】 ・電卓または関数電卓を持参することが望ましい。		